

## 特許紹介

第 23 卷 第 3 號 昭和 12 年 3 月

## セメント製造方法

(特許第 113383 號  
特許権者(發明者) 藤井 盛)

此の發明は、セメント焼成廻転窯内の 300°C~500°C 加熱地帯に於て、送入原料の塊狀結成を防止し、又は塊狀物を破潰して焼成して、セメントを製造する方法であつて、原料の受熱面を大、廻転窯の焼成能力の増加、燒塊の品質の向上を目的としたものである。

## 特殊混合セメント製造法

(特許第 118392 號  
特許権者(發明者) 永井彰一郎)

此の發明は、滿洲撫順産綠色頁岩 20-30 分と石灰石 70-80 分とを混じ、1300°C~1400°C に焼成して得たセメント燒塊を第一要素とし、其の 50-70 分に對し更に第二要素として綠色頁岩を 600°C~800°C に約 1-2 時間煨焼して得た綠色頁岩煨燒物の 30-50 分を用ひ、此等の第一第二要素を混合し、微粉に粉碎して特殊混合セメントを製造する方法であつて、特に海水地下水、礦泉水等の鹽類含有水に對する抵抗性が大きく、且つ長期高强度を保ち得るセメントの經濟的製造を目的としたものである。

## 地下水循環使用装置

(特許第 118395 號  
特許権者(發明者) 野山中治)

此の發明は、鑿井より揚水せられた地下水を使用の後、相當距離に設けた他の同一水層を有する鑿井内に圧力を加へて注入し、地下水層を通過する間に其の水溫を下降せしめ、其の幾分を循環使用する装置であつて、鑿井水量の増加並に近傍鑿井の水位下降の防止を目的として考案したものである。

## 地中打込コンクリート杭の龜裂測定補修法

(特許第 118415 號  
特許権者(發明者) 武智正次郎)

此の發明は、打込作業中に生じたコンクリート杭の龜裂損傷を測知し、之が補修をなし、杭の強度の回復を簡易に行ひ得る方法を得んとして考案したものであつて、即ちコンクリート杭の中央部に底のある縦孔を穿ち置き、打込前豫め之より水を圧入し、健全なる杭の表面より噴出するに至る注入圧力の限度を測定し、打込後再び之より水を圧入し、其の注入圧力が先に測定した圧力限度以下に遞下した時は、縦孔よりセメント乳或は硫酸曹達又は鹽化石灰溶液等の固結劑を注入し、龜裂部分を充

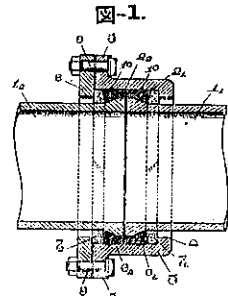
填補修するのである。

## 耐震管接手

(特許第 118423 號  
特許権者(發明者) 齋藤庄三)

此の發明は、耐震管接手として機能完全、構造簡單組立容易なるものを提供せんとし考案したものであつて、即ち端部外周に夫々円錐形の傾斜突縁を形成せしめた

管 (1<sub>1</sub>) (1<sub>2</sub>) を衝き合せ、その衝合部に稍大径の短い套管 (3) を嵌め被せて、套管の中央部内壁と前記の傾斜突縁との間に對向的に連接した断面梯形状の空隙を形成せしめ、夫々外方より之にゴム填隙環 (6<sub>1</sub>) (6<sub>2</sub>) を挿入し、各ゴム環の外側に接して套管内に分割環狀の填隙環押片 (7<sub>1</sub>) (7<sub>2</sub>) を收め、套管の一端に前記の傾斜突縁部を自由に通過して押片に懸合すべき内周突縁 (4) を形成し、套管の他端面には、前記の内周突縁 (4) と等内径の緊締環 (8) を締着して、填隙環押片を傾斜突縁に懸合せしめ乍らゴム環 (6<sub>1</sub>) (6<sub>2</sub>) に彈性限度内の圧縮を與へしめたものである。(圖-1)。



## セメント焼成窯の燒塊冷却装置

(特許第 118461 號  
特許権者(發明者) 吹登 啓示)

## 不凍給水栓

(特許第 118464 號  
特許権者(發明者) 茂又四郎介、須田吉壽)

此の不凍給水栓は給水管内に滞留する水の勢力によつて、自動的に排水管の球弁を開放せしめて、給水管内の水の凍結に依る悪影響を除去せんとしたものである。

## セメント焼成用石炭の粉碎方法

(特許第 118471 號  
特許権者(發明者) 須木 隆二)

## 鉄道踏切自動遮断機

(特許第 118591 號  
特許権者(發明者) 柳澤千太郎  
旭製作所)

此の遮断機は、鉄道踏切に於て、列車の踏切通過前後に扉の 2 段閉塞及開放をなし得るものである。

**砂 利 採 取 機**

(特許第 118624 號  
特許権者 (發明者) 松野長吉, 柴田豊記)

此の砂利採取機は、1 個の原動機を休止せしめる事なく連続的に使用し、一操作にて迅速に各種大きさの純粋な砂利を大容量で分別採取し得るように考案したものである。

**電 纜 管 用 コ ン ク リ ー ト 孔 道 施 工 法**

(特許第 118671 號  
特許権者 (發明者) 野瀬浩一)

此の發明は、電纜管を直接にコンクリート孔道の内面に接觸せしめず、不朽性の支承中に受けしめて、其の鉛皮の侵蝕せられることを防止しようとの目的の下に

図-2.

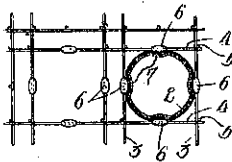
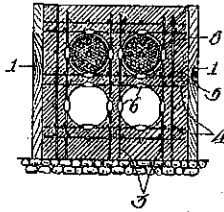


図-3.



考案したものであつて、即ち外型 (1) 内に於て基礎上に立てた内型 (2) を挟む補強筋 (3) に内型に接觸する支持材 (4) を取附け、之等の補強筋及支持材の内型 (2) に接觸すべき部分に陶器製其の他の不朽性支承片 (6) を嵌着し、該支承片に中空袋状内型 (2) を支承片の部分に於て内部に、凹入せしめた状態に於てコンクリートを外型内に充填し、其の凝固するに及び内型及外型を除外して孔道を塑造する方法である (図-2, 図-3)。

**セメント又はコンクリート**

(特許第 118676 號  
特許権者 デュエイ, フンド, アルミケミカル, コムパニー)

此の發明は、エタノールアミンの如き水溶性ヒドロキシアルキルアミン、又は其の鹽類若しくは其の誘導体を添加して得たセメント又はコンクリートであつて、前記の添加剤の適量をコンクリート泥又はセメントに添加する時は、硬化コンクリートの耐圧力を増大し、又は一定の諸條件の下に於て所定の耐圧力を有する單位容積の硬化コンクリートを製造するに要する水硬性セメントの量を減少し得る事實を基礎としたものである。

**(附) 登 録 實 用 新 案**

- コンクリート資料計量供給装置  
(第 230999 號 實用新案権者 公告 11 年 第 8301 號 片岡啓一)
  - 石油燃焼器付加熱式手曳ローラー  
(第 232008 號 實用新案権者 公告 11 年 第 11536 號 日本ビテュマルス株式会社)
  - ローラー付水門  
(第 23140 號 實用新案権者 公告 11 年 第 9748 號 株式会社東武石川島造船所)
  - 塵芥焼却装置  
(第 232518 號 實用新案権者 公告 11 年 第 10086 號 竹内辰元)
  - 基礎及根固め兼用金網石籠  
(第 232537 號 實用新案権者 公告 11 年 第 12894 號 川崎寛正)
  - 鉄道転轍器  
(第 232723 號 實用新案権者 公告 11 年 第 13091 號 ゼ、ユニオン、スリツチ、エンド、シグナル、コム パニー)
  - 不凍消火栓  
(第 232761 號 實用新案権者 公告 11 年 第 11173 號 菊地傳作)
  - 汚水淨化装置  
(第 232780 號 實用新案権者 公告 11 年 第 11626 號 大森柳三)
- (吉藤幸朔)